

728人 夢への挑戦

樽商大で前期2次試験

2018年度国立公立大学入試前期日程の2次試験が始まった。小樽商科大学の入試に受験生728人(志願者796人)が挑んだ。青森が広がり、交通機関の乱れもトラブルはなかった。

(有田隆子)

試験開始前の正門で、車から続々と降りる受験生に、在校生が「あせむ必要なんてない!いつも通りだよ!」と書いたボケッテイッシュを配り、「がんばれ」と応援していた。

同大によると、志願倍率は若干下がった。前期1次(定員280人)で前年度比0.1倍減の2.5倍、夜間クラス(同20人)は同0.2倍減の4.6倍、前期1次専門学科・総合学科卒業生入試(同5人)で同1.6倍減の3.6倍だった。

試験は小樽市内の大学構内と、青森市内の会場2カ所を実施した。受験生のうち、青森会場は11人だった。3月7日午前10時、大学構内での掲示とホームページで合格発表を始める。

志願倍率は若干減



試験用紙の配布を待つ受験生=小樽商科大